

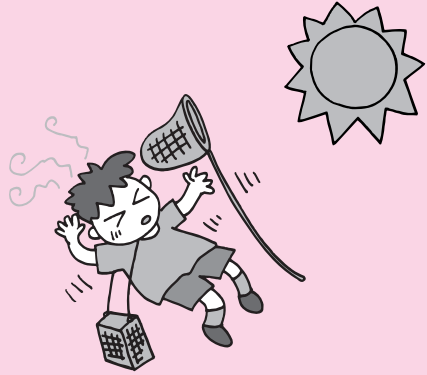
一般質問から

熱中症対策について

Q 毎年、夏の暑さで体温が上昇したときに、熱中症対策として市内にクールシエルタ

ー一時休憩所を公共施設での設置に向けて取り組みはできないものか。お伺いを致します。

A 来年の夏におきましても電力不足による節電への取り組みが求められるものと考えておりますが、一方で、厳しい夏の到来も予測されます。今年度の本市における電力使用状況を踏まえつつ、国・県の動向を注視し、クールシエルターを含めた熱中症予防対策について、検討してまいりたいと存じます。



13番 小倉 順子

避難対策について

Q 避難訓練を重ねた結果、児童・生徒が上履きを外履きに履きかえる必要がないように、上履き自体を従来のバレエシューズから外履き同様の丈夫な運動靴タイプのものに変更していく取り組みがある。

本市の小・中学校は避難訓練の際、15校すべてが、素早く避難することを第一として、上履きのまま避難するよう指示している。そして、現状の上履きは、小学校がバレエシューズ型、中学校がバレエボール型である。

本来の意味での『避難』を考えた場合、水に弱く、瓦礫にも弱い現状の上履きで、児童・生

1番 福野 未知留

徒、とくに、児童の足元を守り切れるのだろうか？
見直しについて、お考えを伺いたい。

A 現状の上履きは、履きかえやすいなど、児童・生徒の学校生活にとって機能的であり、安全面でも支障がないと考える。

よって、見直しについて、各学校に指示する予定はない。

在宅介護について

Q 在宅で痰の吸引が、4月から介護職員でも可能になりましたが、痰の吸引器は医療機器であり、介護保険対象外で全額実費です。機器使用の補助制度の検討について伺います。

A 在宅で痰吸引されている方は、17人で、家族が吸引を行っている方、8人、家族と訪問看護師とで行っている方、7人、訪問看護師のみが行っている方2人と、家族の負担により在宅での療養生活が成り立っている状況です。介護職員の痰吸引については、市内事業所2箇所が申請しています。また、

吸引機器については、全額自己負担となっていますが、日常用具給付事業があるので、そこでの対応について近隣市の状況等を調査していきたいと考えています。



10番 郡司 伶子

中川フラワーパークのインフラ整備について

Q 昨年、八潮市観光協会が一般社団法人の認可をとって以来、フラワーパークの活用

に一段と力が入っています。しかし電気・水道・トイレなどの設備が不十分なため、各イベントを開催するためには何かと不便を強いられています。

インフラを早急に整えるべきだと思います。市の見解は。

A 要望も多くインフラの必要性は十分認識しています。管理者（国土交通省など）との協議により、設置に向け、検討していきます。



19番 森下 純三

教育基金について

Q ①入学準備金貸付金及び教育資金貸付金の滞納状況は②債権総額③滞納分の徴収率が3・5%、4・9%と異常に低い、他市のように連帯保証人にすべきでは④返済義務が生じるのが卒業半年後であり五年返済なら高卒が月五千円、大卒が八千三百円で済む。保護者ではなく本人に貸すべきではないか。後に続く方たちの為にもこの制度を継続しなければならぬ。本人が完済した時の充実感・達成感はその後の人生にとって大きな自信になる。それを説くのも教育ではないか。見解を。

A ①それぞれ二四件約二百十万円、三二件約五百五十万円②約一千三百五十万円・約三千四百九十万円③文書・電話・訪問等の対策は行っていますが保証人ではなく連帯保証人を検討する④いつの時代からか借りても返さない。給食費もそうだが甘えと言ってもいいかもしれないが残念です。ご提案を念頭にし、給食費の徴収率を改善した（99・9%）職員もおりますのでしっかりと対応したい。

5番 大久保 龍雄

教育環境の充実について

Q 来々4月から通学区域が一部、変更となりますが、その対象となる潮止中学校の整備（ハード・ソフト）が必要と考えます。教育委員会としての整備方針についてお聞きします。

A 今回の通学区域の変更に伴い、潮止中学校では、通学区域が拡がり、来々4月に入

学する新1年生から生徒数が増加することが見込まれています。ハード面の整備では、来年度に耐震補強工事・大規模改修工事を予定しています。今後の生徒数増加に伴うクラスの増加に対応するため、現在、実施設計に

2番 朝田 和宏

において、教室の改修等、学校と協議を行いながら設計・積算を進めているところです。

今回の通学区域の変更は、潮止中学校の生徒数を増やすことも目的の一つになっていることから、生徒一人一人が安全に、充実した中学校生活が送れるように学校と連携を密にしなが